



OTO Machines

BAM

取り扱い説明書

(株)アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

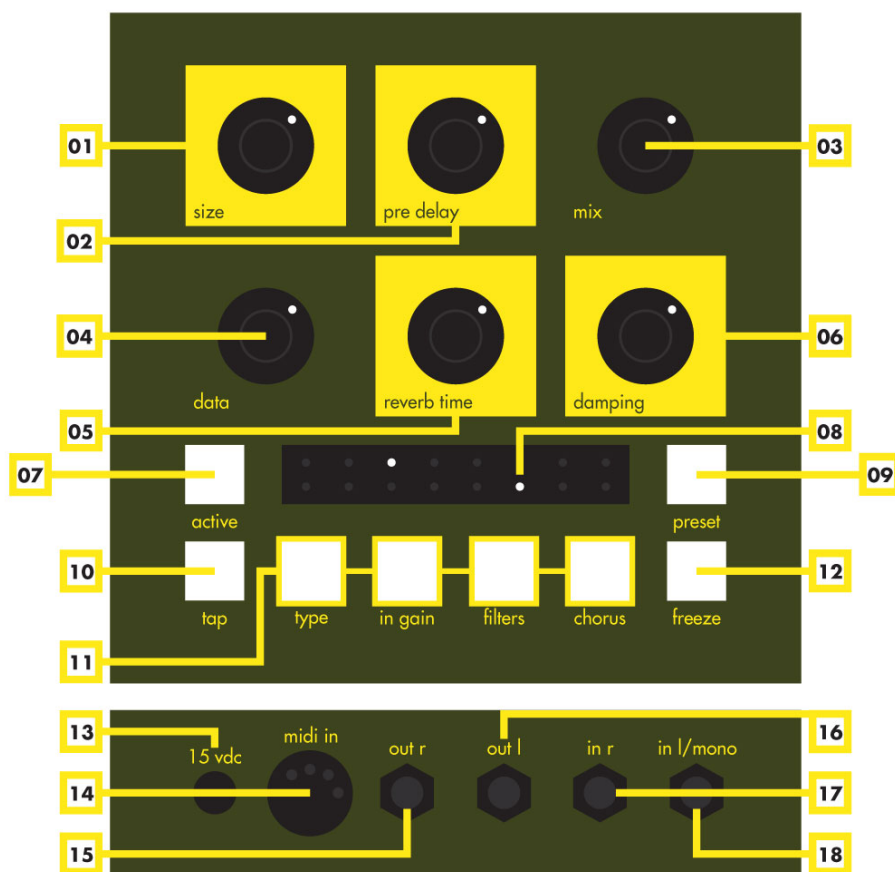
PRESENTATION

BAMIは1970年代後期～1980年初期のデジタル・リバーブ・ユニット(EMT250やLexicon 224など)の持つ、太くて派手なサウンドを再現した個性的なリバーブ・エフェクト・プロセッサです！現代のレコーディングにおいて、多くのサウンドエンジニアやプロデューサー、ミュージシャンたちが、当時の機材が持っていた温かみのある”音楽的な”ファットサウンドを再認識する中、OTO MACHINESは当時のテクノロジーを再発見し、デスクトップで使用できるミュージシャン・フレンドリーなプロフェッショナル機器として再構築しました。

FEATURES

- ・ 7アルゴリズム: ルーム、ホール、プレート、アンビエント、ノンリニア、プリミティブ
- ・ 入力ゲイン(+15dB)により意図的にアナログ倍音を加えられます
- ・ 500msのプリ・ディレイ(ノブコントロール)、TAPコントロールでは1500ms
- ・ 連続可変できるリバーブサイズ・パラメーター
- ・ ロー・カット・フィルター: 20 Hz, 80 Hz, 150 Hz, 250 Hz, 450 Hz
- ・ ハイ・カット・フィルター: 1,8 kHz, 4,5 kHz, 7 kHz, 9 kHz, 15 kHz
- ・ コーラス機能(リバーブ信号にモジュレーションをかけられます)
- ・ タップテンポ機能(プリディレイ、またはリバーブタイムに割り当て可能)
- ・ フリーズ機能
- ・ 36 ユーザー・プリセット
- ・ MIDI インput: CC/Pgm Change対応
- ・ 3バイパスモード切替: Relay、Spillover、Aux
- ・ 16のLEDによるシンプルで分かりやすいインターフェース
- ・ 頑丈なスチール・エンクロージャー
- ・ 専用パワーサプライ(アダプター)付属

FRONT PANEL & REAR PANEL



4

- 01-SIZE リバーブのルームサイズを調整します。
- 02-PRE DELAY リバーブのプリ・ディレイ・タイム(0-500ms)を調整します。
- 03-MIX ドライ信号とウェット信号のミックス調整を行います。
- 04-DATA 選択された各パラメーターの調整を行います。
- 05-REVERB TIME リバーブのディケイ・タイムを調整します。
- 06-DAMPING リバーブ残響の高域成分のロスを調整できます。
- 07-ACTIVE エフェクトのオン/オフを切り替えます。
- 08-LEDS パラメーター、プリセット、MIDIなどの設定情報を表示します。
- 09-PRESET プリセットの保存、呼び出しを行います。
- 10-TAP タップテンポを入力できます。
- 11-FUNCTION KEYS 各パラメーターにアクセスします。
- 12-FREEZE リバーブメモリーを読んでループさせます

13- POWER SUPPLY INPUT 15V DC 0.5 Amp、センター(+)の電源アダプター入力です(付属)。

14- MIDI IN MIDI入力です。

15- OUT R. 右チャンネルの出力端子です。1/4"フォーンプラグ、アンバランス仕様です。

16- OUT L. 左チャンネルの出力端子です。1/4"フォーンプラグ、アンバランス仕様です。

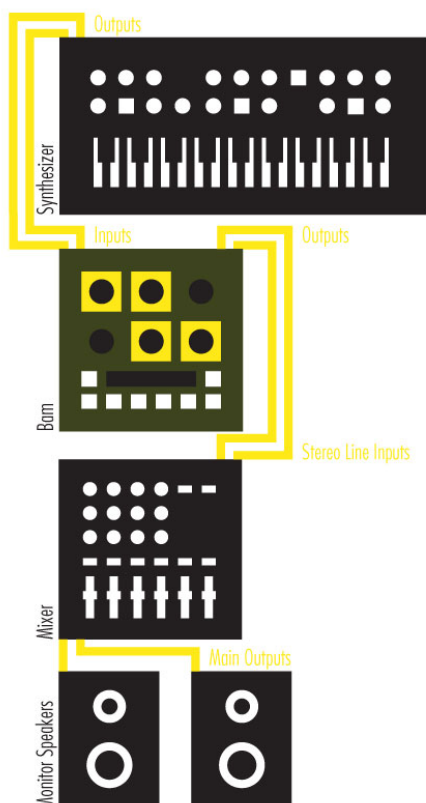
17- IN R. 右チャンネルの入力端子です。1/4"フォーンプラグ、アンバランス仕様です。

18- IN L/MONO. 左チャンネル、またはMONO入力用の端子です。1/4"フォーンプラグ、アンバランス仕様です。

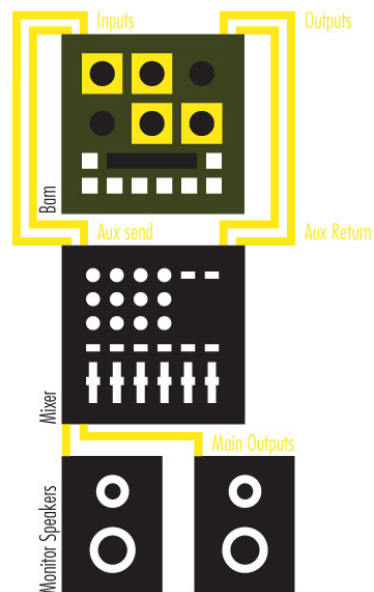
SETUP EXAMPLE

SETUP EXAMPLES

1. Instrument



2. Auxiliary



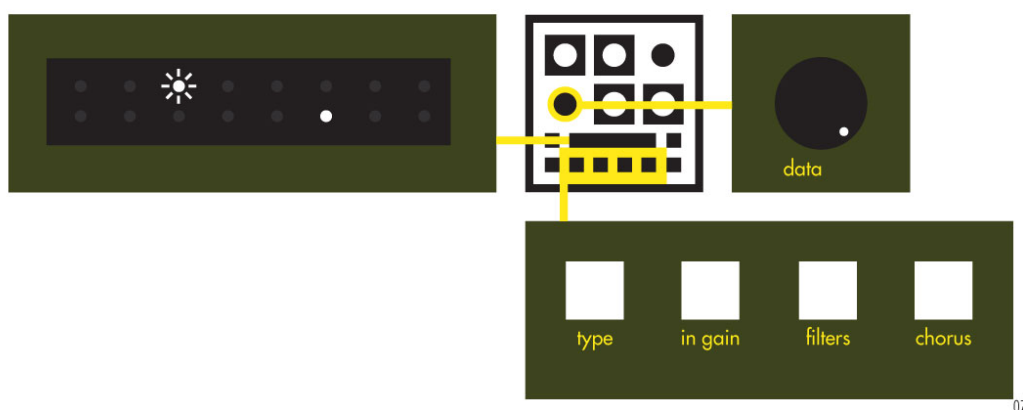
NOTE : turn the MIX pot to its maximum position (right) or set BAM in «Aux mode»(cf. page 12)

PARAMETERS

BAMIには、Type、In Gain、Filters、Chorus の4つのファンクションキーがあります。

ファンクションキーを押すたびに、アクセス可能なパラメーターを切り替えます。選択されたパラメーターは、DATAノブで値を可変できます。

ファンクションキーを何度か押してLEDが消えた状態になると、パラメーターのセレクションは終了します。



Type : Typeは7つの異なるリバーブ・アルゴリズムを切り替えできます(ファンクションキーのTYPEを押してからDATAノブを回すとリバーブ・アルゴリズムを切り替えることができます。白いドットが移動します)。

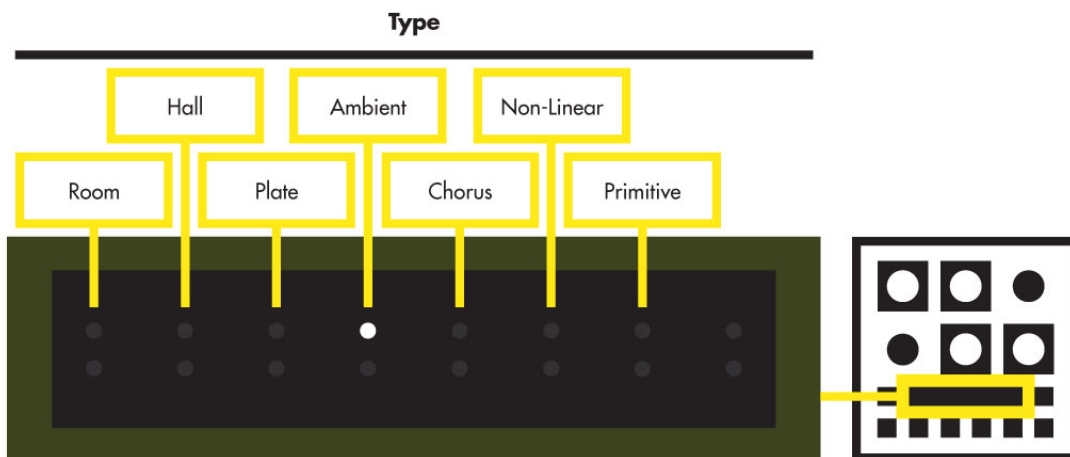
In Gain : リバーブへの入力ゲインを設定します。

Filters : このファンクションは2つのパラメーターが調整できます。上段の白いドットはローカット・フィルター(ハイパス・フィルター)、下段の白いドットはハイカット・フィルター(ローパス・フィルター)です。2つのパラメーター(上段と下段)を切り替えるには、何度かFILTERSを押します。

Chorus : リバーブ信号にコーラス効果モジュレーションを加えられます。

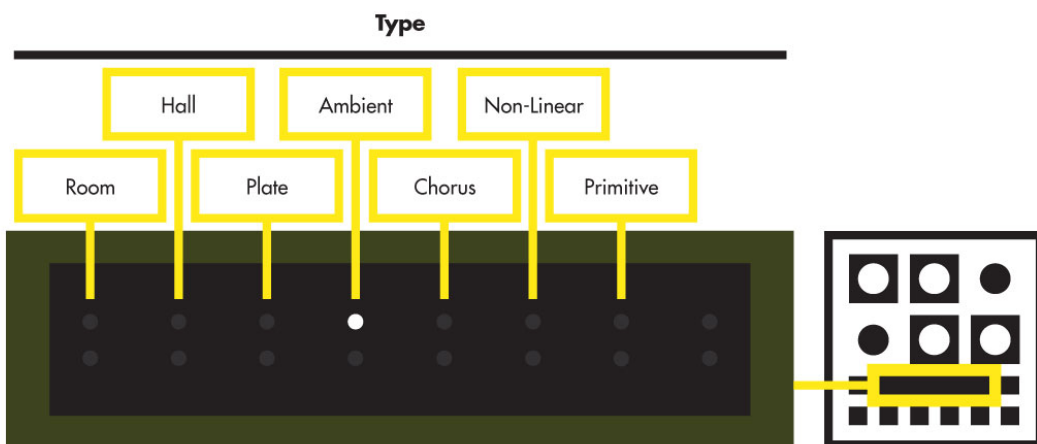
TYPE

リバーブのアルゴリズムを以下の図のように7タイプから選択できます。



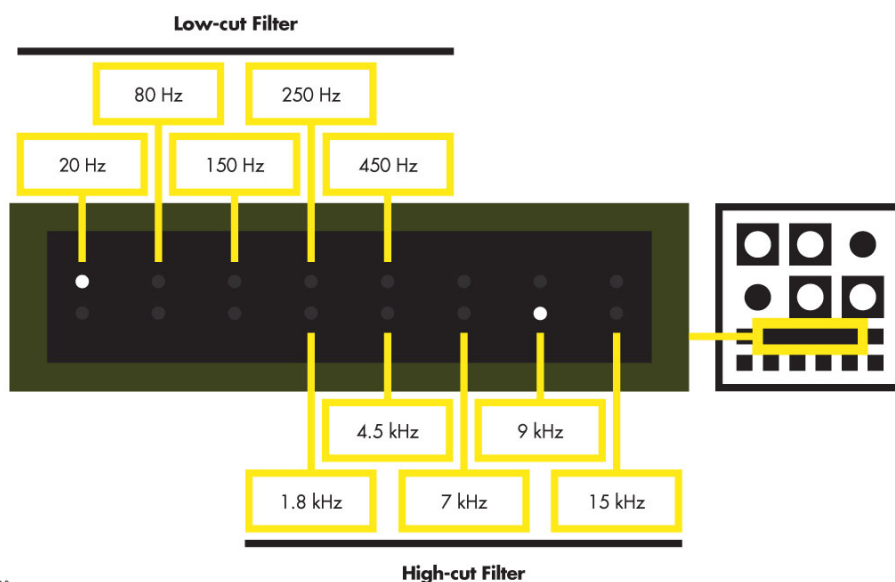
IN GAIN

アナログの入力ゲインの設定が可能です(0~+15dB)。ダイオードを使用したソフト・クリップ回路を装備しており、ゲインを少しオーバーロードさせることで、太く滑らかな倍音質感を得ることも可能です。ゲインを上げていくと、太く歪んだオーガニック、かつ過激なサウンドも作ることができます！



FILTERS

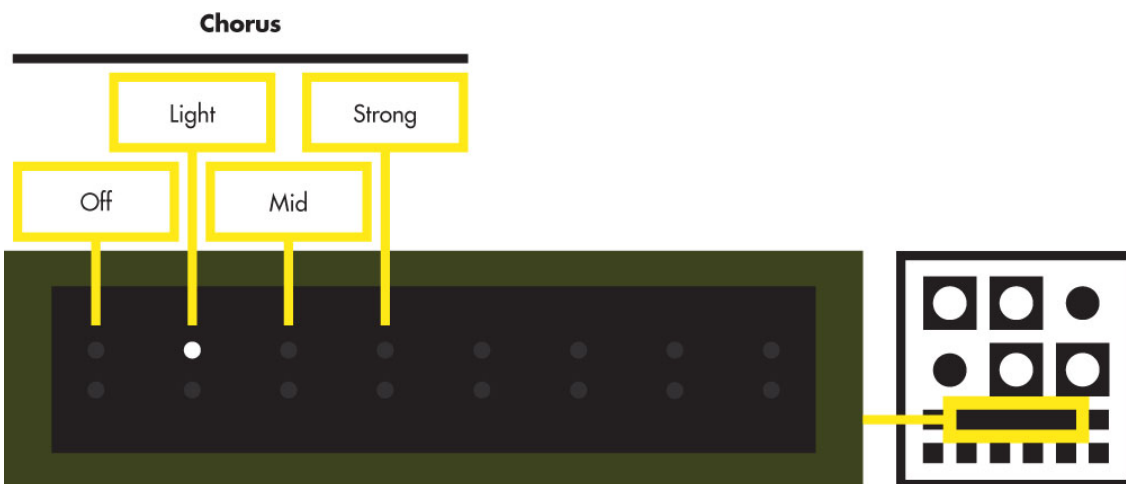
リバーブ入力ポイントでローカットとハイカットを使用できます。リバーブのキャラクターを変化させられます。



10

CHORUS

リバーブ信号にコーラス効果(モジュレーション)を加えられます。



ACTIVE MODE

ACTIVEスイッチは、Relay、Spillover、Auxの、3つのバイパスモードを選択できます。

バイパスモードを変更するには、ACTIVEスイッチを2秒間長押ししてください。すると、LEDが現在のモード位置で点滅します。バイパスモードを変更するにはDATAノブを回してポジションを変更します。ACTIVEスイッチを再度押すと通常モードに戻ります。また10秒間操作がされないと自動的に通常モードに戻ります。

LED1.

ドットが一番左のポジションではRelayモードです。ACTIVEスイッチがオフになると、入力は内部のリレーで直接出力に接続されます。BAMの回路は完全にバイパスされます。

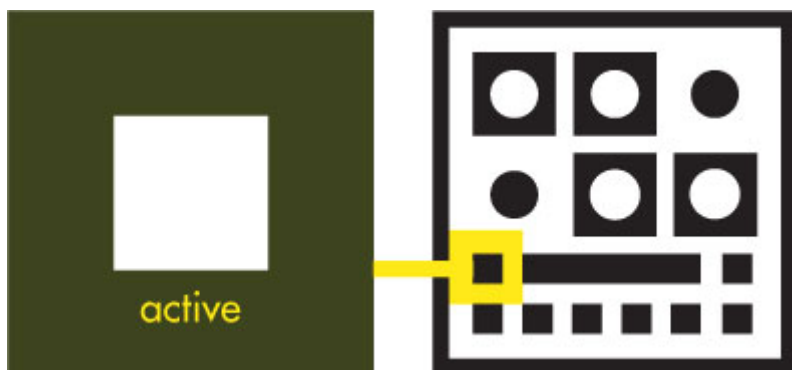
LED2.

ドットが真中のポジションではSpilloverモードです。このモードは電氣的なバイパスで、ACTIVEスイッチがオフになっても、リバーブの残響音が残ります。

LED3.

ドットが一番右のポジションではAuxモードです。このモードでは、MIXノブでディレイのレベルが設定されます。ACTIVEスイッチがオフになると、リバーブ・インプットをミュートします。

* BAMの電源がオフになると、入力は自動的に出力に接続されます(リレー切替)



TAP TEMPO DESTINATION

TAP TEMPOスイッチは、Pre-Delayタイムまたは、Reverbタイムのいずれかをタップで適応できます。

TAP TEMPOモードを変更するには、TAPスイッチを2秒間長押ししてください。すると、LEDが現在のモード位置で点滅します。モードを変更するにはDATAノブを回してポジションを変更します。TAPスイッチを再度押すと通常モードに戻ります。また10秒間操作がされないと自動的に通常モードに戻ります。

LED1.

ドットが左のポジション。TAP入力されたテンポはプリ・ディレイ・タイムに適応されます。

LED2.

ドットが右のポジションでは、タップテンポはリバーブ・タイムに適応されます。

*LED2=リバーブタイムへのタップテンポ適応は現在対応していません。将来的なファームウェアアップデート(MIDI SysEx経由でユーザー自身が行える)で対応の予定です。



DISPLAY MODE

どのパラメーターもセレクトされていない時のディスプレイモードをセレクト・変更可能です。

DISPLAYモードを変更するには、TYPEスイッチを2秒間長押ししてください。すると、LEDが現在のモード位置で点滅します。モードを変更するにはDATAノブを回してポジションを変更します。DISPLAYスイッチを再度押すと通常モードに戻ります。また10秒間操作がされないと自動的に通常モードに戻ります。

LED1.

ドットが一番左のポジションではOFFモードです。スクリーンには何も表示されません。

LED2.

ドットが左から2番目のポジションではVU-METERモードです。16のLEDがリバーブ入力のレベルVUメーターとして動作します。上のラインが左チャンネルの入力レベル、下のラインは右チャンネルの入力レベルです。

LED3.

ドットが一番右のポジションではPRESETモードです。16のLEDは現在のプリセットとバンクナンバーを表示します。



LOCAL MODE (TEMPO & MIX)

各プリセットはそれぞれミックス値を含んでいます。プリセットを呼び出したときにこれらの情報をどのように扱うかを設定で変更できます。

LOCALモードを変更するには、IN GAINスイッチを2秒間長押ししてください。すると、LEDが現在のモード位置で点滅します。モードを変更するにはDATAノブを回してポジションを変更します。DISPLAYスイッチを再度押すと通常モードに戻ります。また10秒間操作がされないと自動的に通常モードに戻ります。

LED1.

ドットが左側のポジションではPRESETモードです。ミックスの値は、プリセットに保存されたオリジナルの値が適応されます。

LED2.

ドットが右側のポジションではLOCALモードです。ミックスの値は、現在のBAMで設定されている値となります。プリセットに保存されたミックスの値は無視されます。



FREEZE MODE

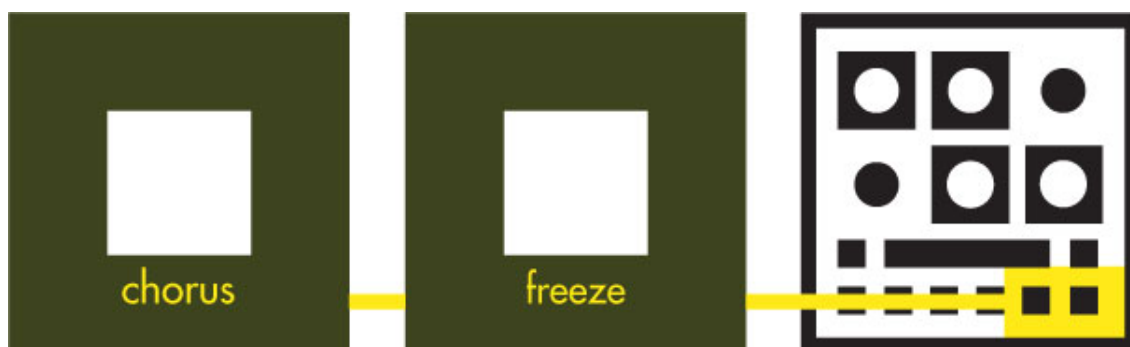
FREEZEスイッチの機能はラッチまたはモメンタリーのモード設定が可能ですFREEZEモードを切り替えるには、【FREEZEとCHORUSの両方のスイッチを同時に2秒間長押し】してください。すると、LEDが現在のモード位置で点滅します。モードを変更するにはDATAノブを回してポジションを変更します。OFFSETスイッチを再度押すと通常モードに戻ります。また10秒間操作がされないと自動的に通常モードに戻ります。

LED1.

ドットが左のポジションではラッチモードです。FREEZE効果はFREEZEスイッチを一度押すとオンになり、もう一度押すとオフになります。

LED2.

ドットが右のポジションではモメンタリーモードです。FREEZE効果はFREEZEスイッチを押している間のみオンになり、指を離すとオフになります。



PRESET

BAMIは合計36のプリセットを保存できます(6バンク×6プリセット)。

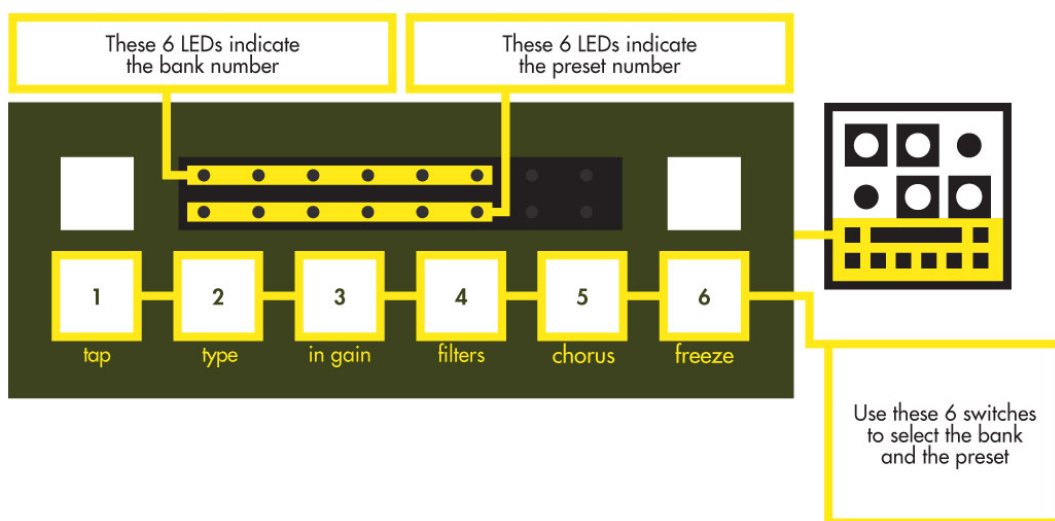
ディスプレイ上で上のラインが6個のバンク番号を、下のラインが6個のプリセット番号を表しています。

RECALL A PRESET

プリセットを呼び出すには、最初にPRESETボタンを押します。上の段のLEDが(点滅しています)バンク番号を表しています。TAP~FREEZEの6個のボタンがそれぞれバンク1~6を表していますので、希望のバンク番号を押します。次に下の段のドットが点滅するので、希望のプリセット番号を同じように6個のボタンで選択してください。

SAVE A PRESET

プリセットを保存するには、PRESETボタンを2秒間長押しします。PRESETスイッチ自体が点滅し、SAVEモードであることを示します。上の段のLEDが(点滅しています)バンク番号を表しています。TAP~FREEZEの6個のボタンがそれぞれバンク1~6を表していますので、希望のバンク番号を押します。次に下の段のドットが点滅するので、希望のプリセット番号を同じように6個のボタンで選択してください。この時点で全てのパラメーターとノブのポジションが、選択されたプリセットに保存されます。



EXIT WITHOUT LOADING OR SAVING A PRESET

もしPRESETスイッチを押しても、BANKまたはPRESETを押していなければ、ロードもセーブもされません。通常モードに戻るまで10秒待ってください。

POTENTIOMETERS POSITION

プリセットを呼び出すと、ノブの実際のポジションに関係なく、プリセットに保存された値がエフェクトに適応されます。ノブを回した際に突然異なるボリュームにならないように、プリセットの値がノブの値に滑らかにフェードするよう設計されています。

FACTORY PRESET

最初の2つのバンクは12のファクトリーセッティングが工場出荷時には保存されています。

プリセットを上書きすると元に戻すことはできませんのでご注意ください。

Table 1 : Factory Presets list

1.1 Le Salon de Musique	1.2 Tired Room	1.3 Cold Wave	1.4 SmHall	1.5 Hall Right	1.6 The Rite of Plate
2.1 Daily Spacial	2.2 Solaris	2.3 Stoned Reflections	2.4 Kssshhh	2.5 The Intruder	2.6 Endangered Spaces

MEMORY PROTECT

プリセットを誤って消してしまわないように、メモリープロテクション機能が搭載されています。PRESETとFREEZEボタンの両方を2秒間長押しすると、PRESETとFREEZEのスイッチ自体がモード位置で点滅します。モードを変更するにはDATAノブを回してポジションを変更します。OFFSETスイッチを再度押しすと通常モードに戻ります。また10秒間操作がされないと自動的に通常モードに戻ります。

LED1.

ドットが左側のポジションではメモリーはプロテクトされません。

LED2.

ドットが右側のポジションではメモリーがプロテクトされます。この状態では保存できませんのでご注意ください。保存しようとするLEDが点滅してプロテクトモードであることを知らせます。

MIDI

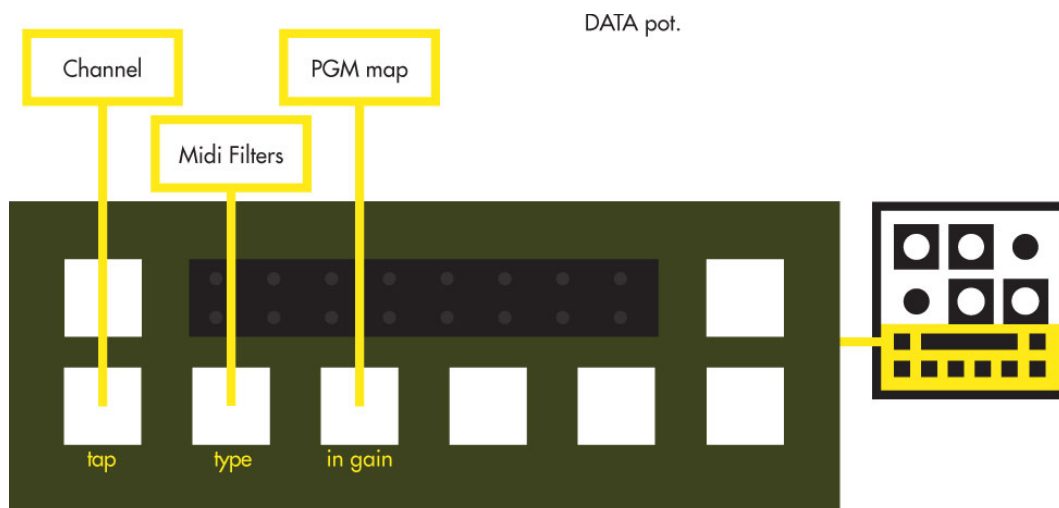
MIDIセッティングモードでは、以下の機能にアクセス可能です。

- ・MIDI チャンネルの選択
- ・MIDIフィルター
- ・プログラムチェンジ map

MIDIメニューにアクセスするには、PRESETスイッチを押してから(PRESETから指は離さずに)、続いてACTIVEスイッチを押してください。TAPとTYPE、IN GAINの3つのスイッチが点滅します。このいずれかのスイッチを押すことでサブメニューにアクセスします。例えば3つのスイッチの点滅中に、TAPスイッチを押すと「Channel」設定に、TYPEスイッチを押すと「MIDI Filter」の設定に、IN GAINを押すと「PGM map」の設定にアクセスします。

1、CHANNEL

16個のLEDの位置がMIDIチャンネルを表します。DATノブを回してMIDIチャンネルを設定できます。



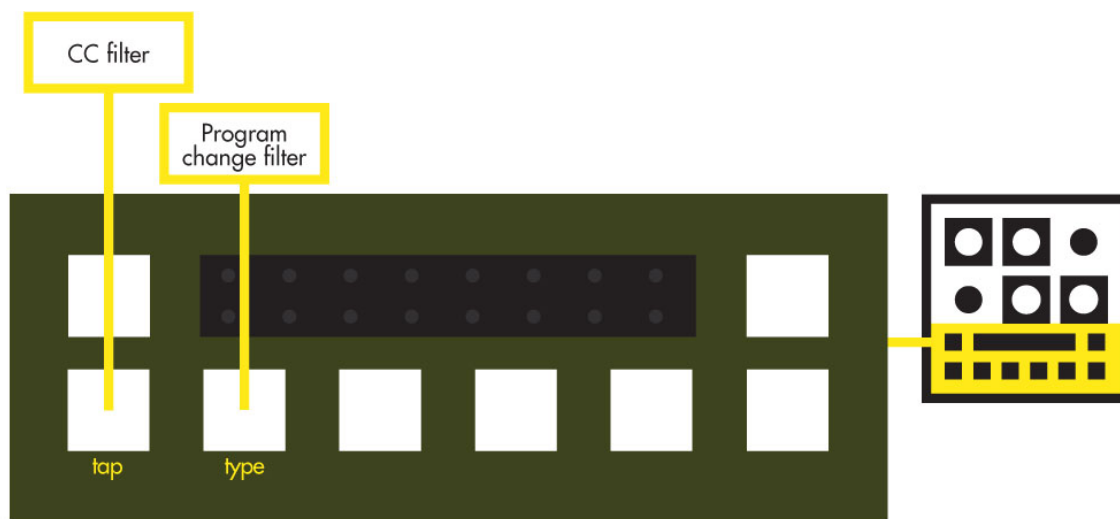
17

2、MIDI FILTERS

TAP、TYPEのスイッチの点滅、または点灯でMIDIフィルターの状態を設定できます。す。

1、CC Filter (TAPスイッチ)

2、Program Change Filter (TYPEスイッチ)



18

3、PGM CHANGE MAP

BAMは36のプリセットと、MIDIプログラムチェンジ・メッセージ(128値)を持ちます。BAMのプリセットをMIDIプログラムチェンジに割り当てできます。

PGMチェンジ・マップのサブメニューが選択され、コンピューターやシーケンサーなどのMIDIデバイスからプログラム・チェンジ・メッセージが送られると、BAMはメッセージを受信します。

PGMチェンジのサブメニューモード時に、OFFSETとFREEZEスイッチを同時に押すことでプログラム・チェンジのマップをリセットする事ができます。

MIDIメニューからでは、ACTIVEまたはPRESETスイッチを押してください。

Table 2 : Default Program Change list

Preset	PGM Chge Nr	Preset	PGM Chge Nr	Preset	PGM Chge Nr
1.1	1 - 37 - 73 - 109	3.1	13 - 49 - 85 - 121	5.1	25 - 61 - 97
1.2	2 - 38 - 74 - 110	3.2	14 - 50 - 86 - 122	5.2	26 - 62 - 98
1.3	3 - 39 - 75 - 111	3.3	15 - 51 - 87 - 123	5.3	27 - 63 - 99
1.4	4 - 40 - 76 - 112	3.4	16 - 52 - 88 - 124	5.4	28 - 64 - 100
1.5	5 - 41 - 77 - 113	3.5	17 - 53 - 89 - 125	5.5	29 - 65 - 101
1.6	6 - 42 - 78 - 114	3.6	18 - 54 - 90 - 126	5.6	30 - 66 - 102
2.1	7 - 43 - 79 - 115	4.1	19 - 55 - 91 - 127	6.1	31 - 67 - 103
2.2	8 - 44 - 80 - 116	4.2	20 - 56 - 92 - 128	6.2	32 - 68 - 104
2.3	9 - 45 - 81 - 117	4.3	21 - 57 - 93	6.3	33 - 69 - 105
2.4	10 - 46 - 82 - 118	4.4	22 - 58 - 94	6.4	34 - 70 - 106
2.5	11 - 47 - 83 - 119	4.5	23 - 59 - 95	6.5	35 - 71 - 107
2.6	12 - 48 - 84 - 120	4.6	24 - 60 - 96	6.6	36 - 72 - 108

Table 3 : MIDI CC list

Param	CC
Size	12
Pre Delay	13
Mix	14
Reverb Time	15
Damping	16
Active	17
Type	18
In Gain	19
Low-cut	20
High-cut	21
Chorus	22
Freeze	23

SPECIFICATIONS

Inputs

Connectors :	1/4" phone jacks
Input type :	single ended
Impedance :	1 MOhm
Max input level :	+20 dBu (@ 1% THD+N)

Outputs

Connectors :	1/4" phone jacks
Output type :	single ended
Impedance :	100 Ohm
Max output level :	+20 dBu

Dry signal specifications

THD+N :	0.025 % (20 Hz - 20 kHz, 0 dBu)
Frequency response :	- 0.11 dBu @ 20 Hz - 0.15 dBu @ 20 kHz
Dynamic range :	106 dB

Wet signal specifications

THD+N :	0.073 % (@ 1 kHz, 0 dBu)
Frequency response :	- 1.50 dBu @ 25 Hz - 2.90 dBu @ 15 kHz
Dynamic range :	88 dB

General

Dimensions :	145 x 145 x 65 mm
Weight :	782 g

Power supply

Input :	100V to 240V AC, 50 to 60 Hz, 0.6 Amp
Output :	+15V DC, 1 Amp
Dimensions :	74 x 43 x 35 mm
Weight :	165 g

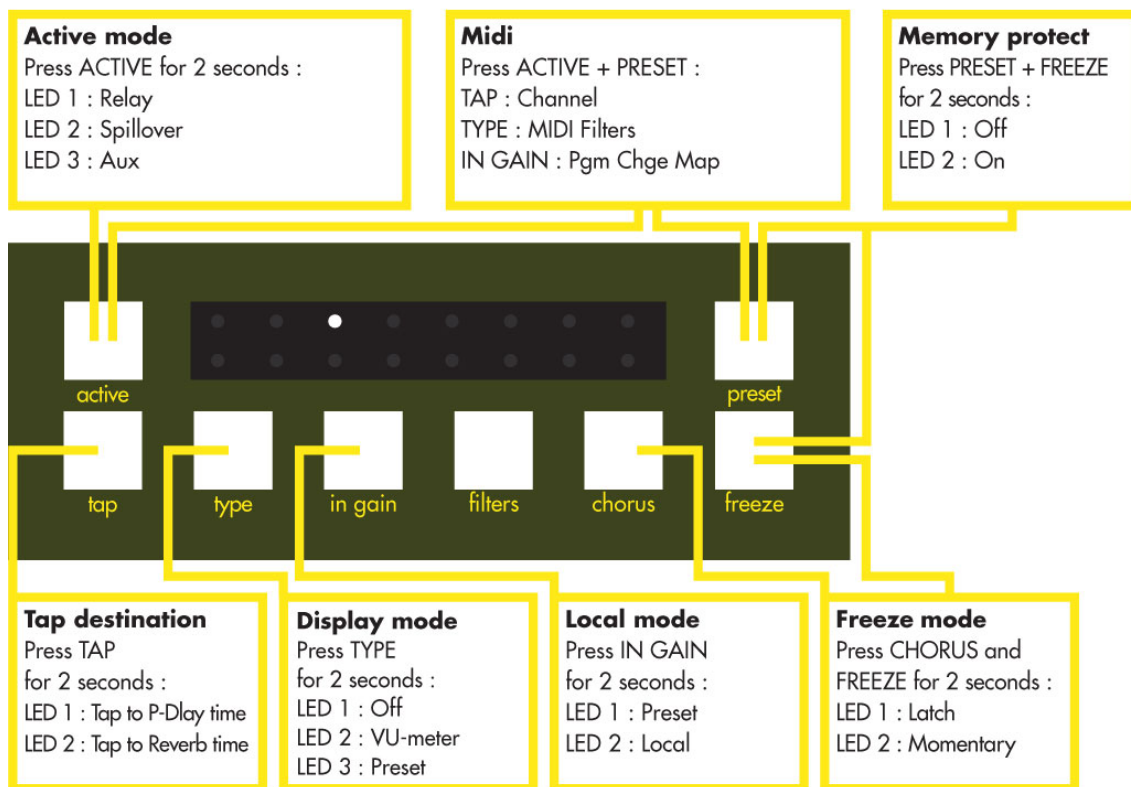
**DUE TO CONTINUOUS PRODUCT IMPROVEMENT,
THESE SPECIFICATIONS ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE.**

RESET

工場出荷時のシステム設定にリセットしたい場合には、ACTIVEとTAPスイッチの両方を押しながら、本機の電源をオンにしてください。ACTIVEとTAPのスイッチが点灯し、16個のLEDが3秒間ほど流れるように動き、その後に設定がリセットされます。

また、12個のファクトリー・プリセットをリストアした場合には、PRESETとFREEZEスイッチの両方を押しながら、本機の電源をオンにしてください。PRESETとFREEZEのスイッチが点灯し、16個のLEDが10秒間ほど流れるように動き、その後にプリセットがリストアされます。

SHORTCURTS SUMMARY



(株)アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。